

LUKLA Reader ご利用の手引き p. 2～6

- | | | |
|-----|-----------------------|------|
| (1) | ご用意いただくもの | p. 2 |
| (2) | LUKLA Reader インストール方法 | p. 3 |
| (3) | LUKLA2800 からデータを出力する | p. 5 |
| (4) | 参考資料 | p. 6 |

SpO₂解析ソフトご利用の手引き p. 7～15

- | | | |
|-----|-------------------------------|----------|
| (5) | SpO ₂ 解析ソフトのインストール | p. 7 |
| (6) | 画面の説明 | p. 9 |
| (7) | 各画面の詳細説明 | p. 10～15 |
| | ■初期設定画面 | p. 10 |
| | ■トレンドグラフ画面 | p. 11～14 |
| | ■データ履歴 | p. 15 |

ユビックス株式会社

LUKLA Reader ご利用の手引き

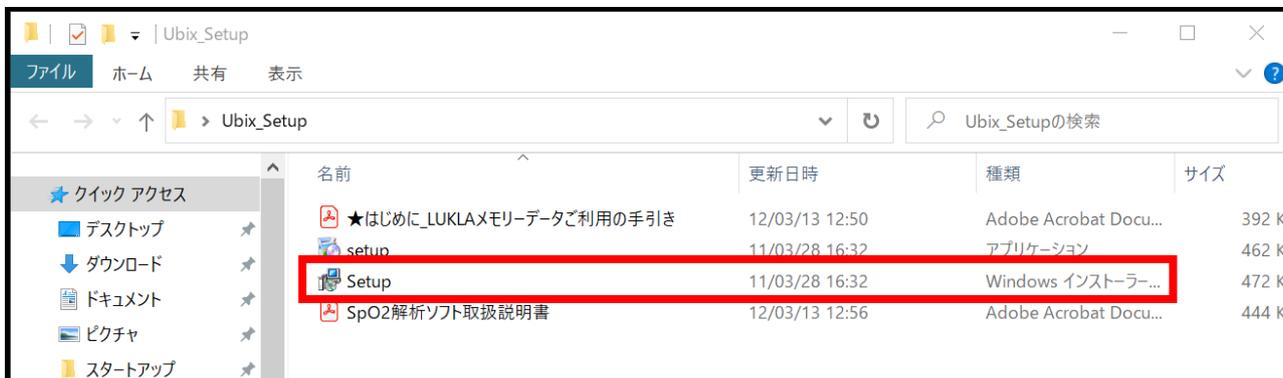
(1) ご用意いただくもの

品名	内容
LUKLA2800 本体	LUKLA Reader ご利用の前に日時・メモリーインターバルの設定を行ってください。設定方法は LUKLA2800 取扱説明書を参照ください。
プローブ、センサー	LUKLA2800 専用のプローブ、センサ
WindowsPC	対応 OS : Windows 7/8/10 LUKLA Reader をダウンロードする場合はインターネットに接続できる環境が必要です。 ※最新の OS でダウンロード可能かについては LUKLA 本体を購入される前にご確認ください。
USB ケーブル(市販品) A - B	パルスオキシメータと PC を接続するためのケーブルです。 お客様にてご用意ください。
LUKLA Reader	LUKLA2800 のメモリー内のデータを PC に出力するためのソフトウェアです。 ユビックス株式会社のホームページからダウンロードが可能です。

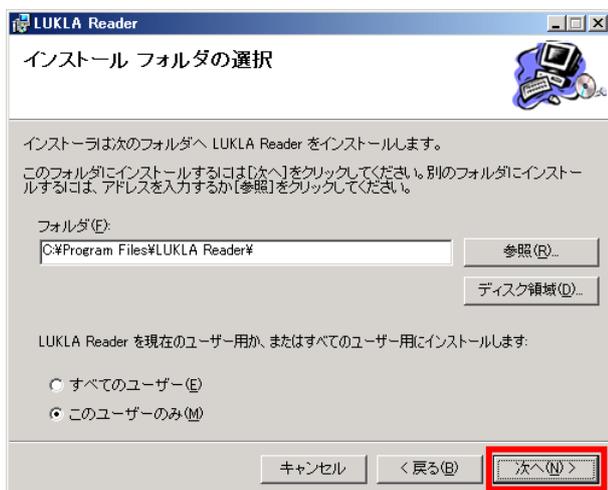


(2) LUKLA Reader インストール方法

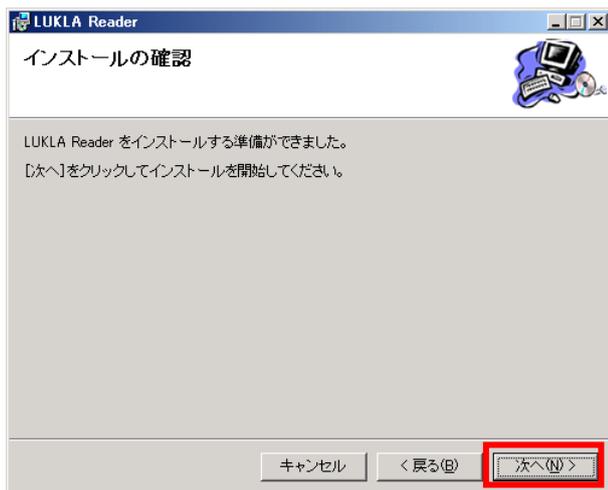
1. ユビックス株式会社のホームページより LUKLA Reader をダウンロードします。
保存したファイルを開き、格納されている setup (アプリケーション) をダブルクリックし、インストーラを起動させます。警告メッセージが表示された場合は「実行」を押してください。



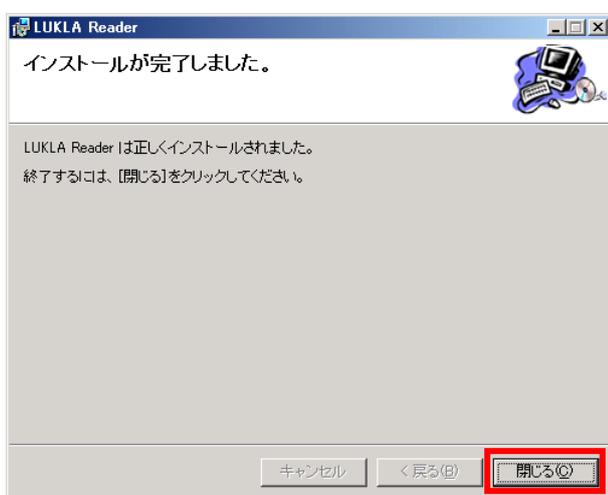
2. 「次へ」を押します。



3. 続いてインストールフォルダを指定し、「次へ」を押します。



4. 「次へ」を押します。

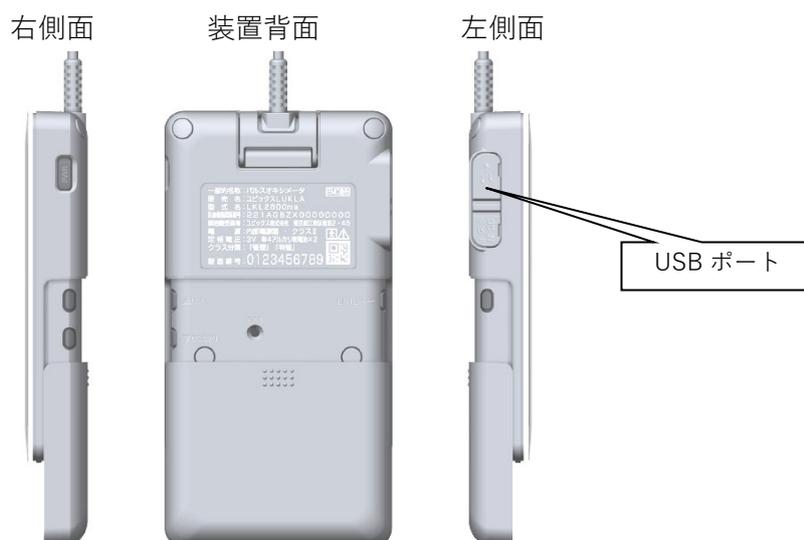


5. 「閉じる」を押します。

■ LUKLA Reader のアンインストール方法

「コントロールパネル」 → 「プログラムの追加と削除」から、「LUKLA Reader」を「削除(アンインストール)」してください。

(3) LUKLA2800 からデータを出力する



<p>LUKLA と PC との接続</p>	<p>LUKLA 本体の電源を「オフ」にしてから操作を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① LUKLA2800 本体左側面にある USB ポートのカバーを開けて、USB ケーブルのミニ B 側を差し込みます。 ② USB ケーブルの A プラグ側を PC に差し込みます。 ③ 初回接続時は、「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。」と表示されるまで待ちます。
<p>メモリデータの取り込み</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① LUKLA2800 本体の電源はオフのまま、LUKLA Reader を起動します。 ② 以下の画面が表示されたら、ファイル名と保存先を入力し、右下の「保存」ボタンを押します。 ファイルは CSV 形式で記録されます。  <ol style="list-style-type: none"> ③ LUKLA2800 に保存されているメモリの出力が開始されます。 ④ 正常に出力が完了すると、LUKLA Reader は自動的に終了します。 <p>LUKLA2800 と PC が未接続の場合、またはドライバーがインストールされていない場合には「ケーブルの接続、もしくはドライバーの設定を確認してください」というメッセージが表示されます。</p>
<p>LUKLA2800 の取り外し</p>	<ol style="list-style-type: none"> ① USB ケーブルを LUKLA2800 及び PC より外し、作業完了です。

(4) 参考資料

■メモリーデータの CSV ファイルへの記録書式

SpO2 値欄	,	脈拍数値欄	,	コメント欄	解説
SpO2	,	HR			1 行目
					空白行
98	,	80	,		測定結果数値
98	,	81	,		測定結果数値
:		:			測定結果数値
:		:			測定結果数値
97	,	80	,		測定結果数値
	,		,	Not calculated	(データ空白) 計算不能
	,		,	Probe disconnected	(データ空白) プロブ未接続
	,		,	Finger off	(データ空白) 指脱落
98	,	80	,		測定結果数値
98	,	81	,		測定結果数値
97	,	80	,		測定結果数値
Last record time	,	2011/12/25 20:00:00	,		終了(電源オフ)時の日付・時刻
Record interval (sec)	,	2	,		メモリー間隔(秒)
					空白行
98	,	80	,		次の測定結果数値
:		:			次の測定結果数値
:		:			次の測定結果数値

■記録時間について

メモリーインターバル 2 秒の場合..... 30 時間
 メモリーインターバル 6 秒の場合..... 90 時間
 メモリーインターバル 30 秒の場合..... 450 時間

※注意事項

記録時間を超過すると、データは古いものから順に上書きされます。
 データが上書きで失われることを防ぐため、測定が終了後は必ず電源スイッチを長押しして電源をオフにしてください。

SpO₂解析ソフトご利用の手引き

■SpO₂解析ソフトとは

LUKLA2800 で計測したデータを詳細に解析するソフトウェアです。
LUKLA Reader を使用し出力したデータを本ソフトで読み込んで、解析を行います。

睡眠時無呼吸症候群(SAS)のスクリーニング検査や呼吸リハビリテーションの効果を判定する検査に有効です。

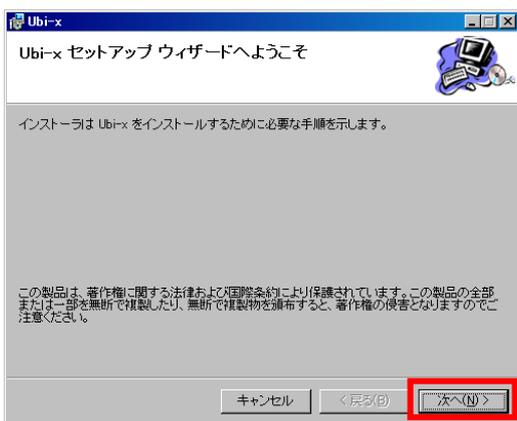
ユビックス株式会社のホームページから3日間のお試し版がダウンロード可能です。

■SpO₂解析ソフトご利用の前に

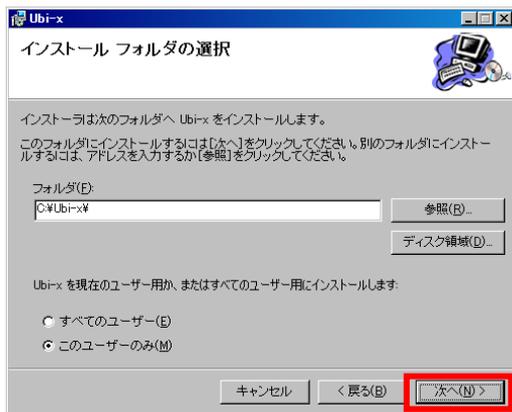
SpO₂解析ソフトは LUKLA Reader を使用して出力したデータを読み込み解析します。
事前に LUKLA Reader にてデータを出力してください。

(1) SpO₂解析ソフトのインストール

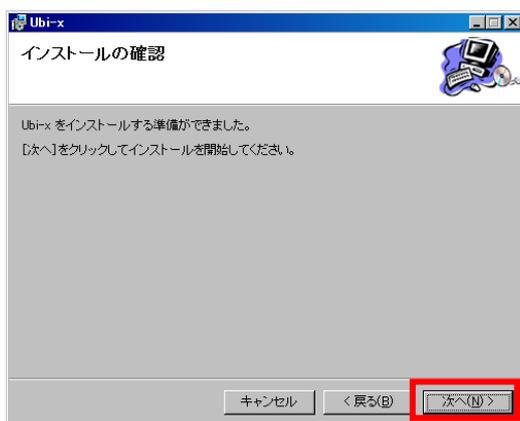
1. CD-ROM を PC に入れ、読み込みます。表示された「Ubi-x_Setup」フォルダを開き、SETUP.EXE を起動します。
2. NET Framework 3.5 がインストールされていないパソコンの場合は、.NET Framework 3.5 のインストール画面が表示されます。画面の指示に従ってインストールを行ってください。



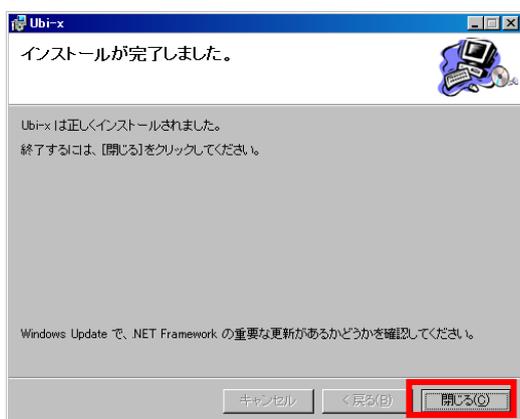
3. インストール画面が表示されたら「次へ」をクリックします。



4. インストールする場所を選択して「次へ」をクリックします。

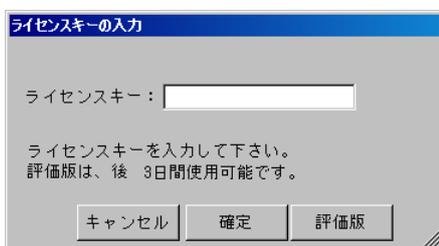


5. 「次へ」をクリックし、インストールを実行します。



6. インストールが完了したら「閉じる」ボタンを押してインストールを終了します。

7. インストール後、デスクトップ上に作成された「Ubi-x」アイコンをクリックします。



8. ライセンスの登録画面が表示されます。

【製品をお持ちの方】

CD-ROM のラベルに印字されているライセンスキーを入力し、「確定」ボタンを押してください。

【お試し版をお持ちの方】

ライセンスキーは入力せずに、「評価版」ボタンを押してください。

9. プログラムが起動します。

■SpO₂解析ソフトは次の4つの画面で構成されています。

■患者データ画面

- 患者情報の入力
- 患者登録データの検索
- メモリデータの読み込みと関連付け



■トレンドグラフ画面

- データの加工
- 不要データのマスク
- グラフ・統計結果の表示
- 報告書（解析結果・トレンドグラフ）の印刷

■データ履歴画面

- 過去に記録された患者データの履歴の検索、表示、削除

■初期設定画面

- 基準値の登録(解析作業中に変更は可能)
- 施設名・科名・担当医名の登録
(お試し版では登録することはできません。)

■初期設定画面

SpO2 解析ソフトで使用する基本的な情報を設定します。

① 基準値の登録

低酸素指標値の基準となる数値を設定します。

SpO2 解析ソフトでは固定値と中央値の両方を基準値として報告書を作成します。

- 中央値：解析範囲の中央値からプラスマイナスした値を報告する低酸素指標値の初期値とし、-1%刻みで4段階の指標を表示します。
- 固定値：任意に設定された SpO2 値を報告する低酸素指標値の初期値とします。-5%刻みで4段階の指標を表示します。

② 施設名、科名、担当医の登録

お試し版では登録することはできません。

■トレンドグラフ画面

① 基準値

データ解析で使用する基準値を設定します。

初期値は、初期設定で設定されている値を設定します。

解析中央値の場合は、検査データの中央値を求め初期値で設定されている値をプラスマイナスします。

【設定方法】

1. 基準値を入力し「設定」ボタンクリックで解析結果タブに反映させます。

② データマスク

データ解析で計算に用いない不要なデータ位置を設定します。

- ・解析レンジ（以下③を参照）の「開始」、「終了」で時間を入力し、「設定」ボタンクリックで表示されるグラフ上にマスク領域をピンクで表示します。

- ・データマスク設定グラフ上でマウスボタンをクリックし、ボタンを希望位置まで押したまま移動させてマウスを放します。

マウスボタンクリックから放したところまでのデータマスク領域をピンクで表示します。

- ・「解除」 ボタンクリックで、直前に設定されたデータマスクが解除されます。
- ・「全解除」 ボタンクリックで、全てのデータマスクが解除されます。

③ 解析レンジ・スケール変更

データ解析で使用する範囲を設定します。

【設定方法】

- 解析レンジ

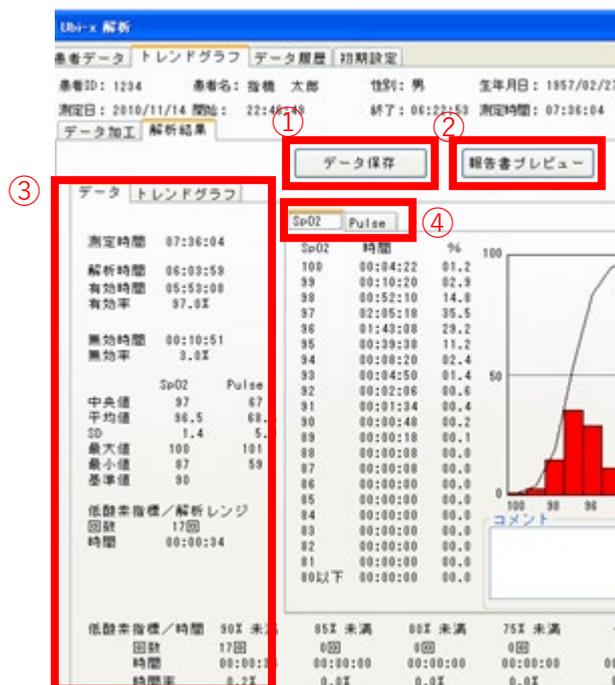
1. 「開始」、「終了」で解析レンジ時間を入力します。
2. 開始レンジ、又は、終了レンジの線をマウスボタンクリックし、マウスボタンを押したまま希望の位置でボタンを放します。
3. マウスボタンを放した場所に線が移動され、解析レンジの「開始」、「終了」に時間が設定されます。

- スケール変更

データマスク設定グラフの表示範囲（SpO2 と Pulse の最大値、最小値）を入力します。

「設定」 ボタンをクリックすると、設定された解析レンジ、スケール変更の内容でデータマスクグラフを表示します。

【トレンドグラフ・解析結果】

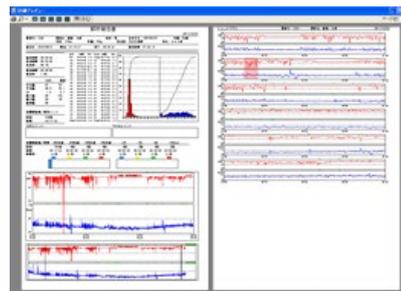


①データ保存

作成された情報を報告書データとして保存する。

②報告書プレビュー

保存されている報告書データより報告書を印刷プレビューで表示し、印刷する。(以下イメージ画像)



③データ（表示項目の解説）

測定時間： 「患者データ」の「データ取込」で取込まれた検査データの検査時間

解析時間： 検査データ内の「データ加工」「解析レンジ」で設定された解析レンジ内の時間

有効時間： 解析時間よりマスクされている時間、検査データ内で取得できていない時間を引いた時間

時間率： 有効時間／解析時間 %

無効時間： 解析時間－有効時間

時間率： 無効時間／解析時間 %

平均時、中央値、SD、最大値、最小値

基準値： 検査データの中央値ベースおよび入力値ベース

低酸素指標／解析レンジ

回数： SpO2 の値が基準値から下まわった回数

時間： SpO2 の値が基準値より下まわった時間の合計

低酸素指標／時間

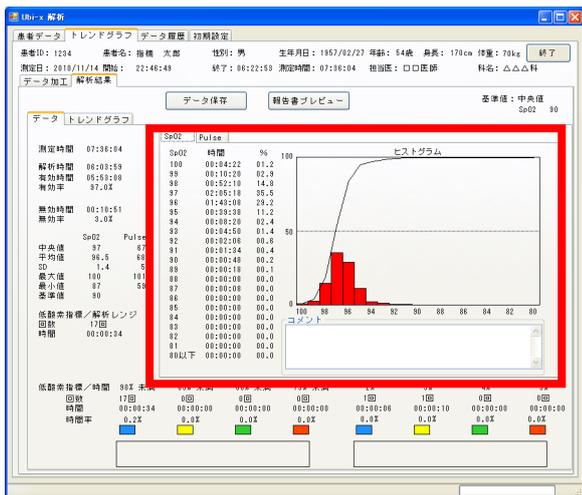
回数： SpO2 の値が設定値から下まわった回数

時間： SpO2 の値が設定値より下まわった時間の合計

低酸素指標／時間

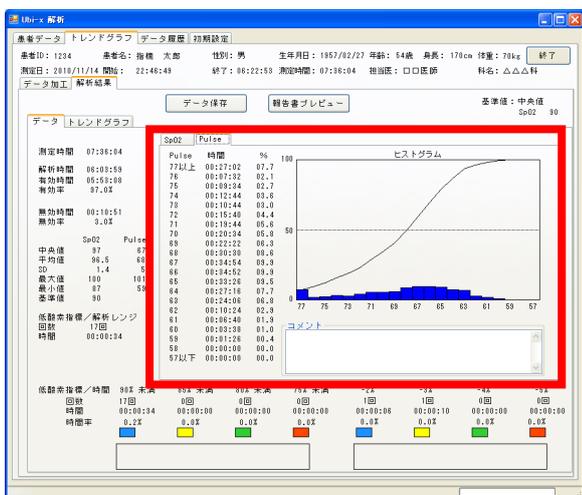
回数： SpO2 の値が設定値(%)以上、下まわった回数

時間： SpO2 の値が設定値(%)以上、下まわった時間の合計



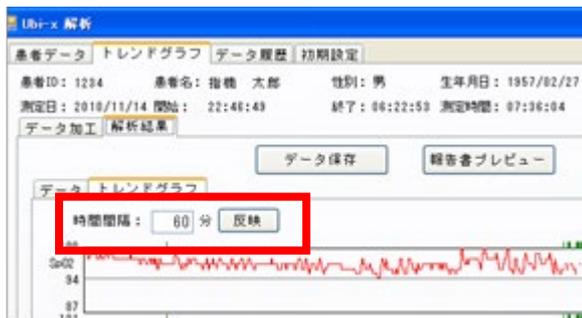
■ヒストグラム (SpO₂)

- SpO₂ : SpO₂の値 (100~80、79 以下)
- 時間 : SpO₂の値の合計時間
- % : SpO₂の値の%
(SpO₂の値/SpO₂の値の合計)
- 折れ線 : SpO₂の累計値の%
(SpO₂の累計値/SpO₂の値の合計)
- 棒線 : SpO₂の値の%
(SpO₂の値/ SpO₂の値の合計)
- コメント : 任意のテキストを入力



■ヒストグラム (Pulse)

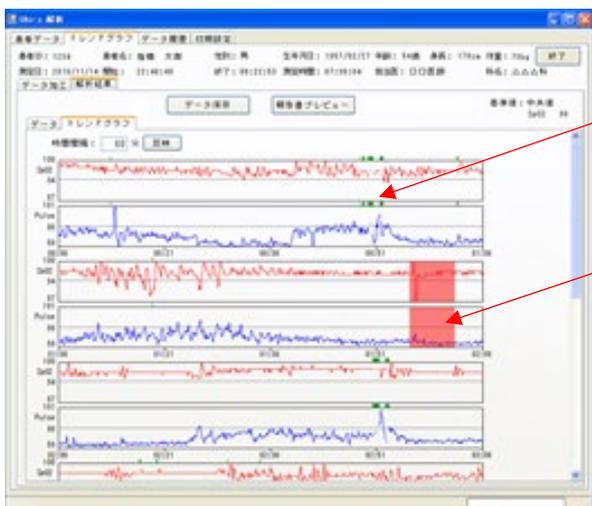
- Pulse : Pulse の中央値から前後 10 個
- 時間 : Pulse の値の合計時間
- % : Pulse の値の%
(Pulse2 の値/Pulse の値の合計)
- 折れ線 : Pulse の累計値の%
(Pulse の累計値/Pulse の値の合計)
- 棒線 : Pulse の値の%
(Pulse の値/Pulse の値の合計)
- コメント : 任意のテキストを入力



■トレンドグラフ

測定時間全体にわたって SpO₂と Pulse のトレンドグラフを表示します。

- 時間間隔 : 1 行に表示する時間を入力
- 反映 : 変更をグラフに反映させる
- グラフの縦軸の最大値・最小値は検査データより取得



データが取得されていない (緑部分)

データがマスクされている (赤帯部分)

■データ履歴

入力された検索条件に該当する検査データを一覧に表示します。
一覧表より不要な検査データを選択し、削除したり、任意のデータを選択し、トレンドグラフに表示させます。

【検索条件】 入力された検索条件で検査データを検索する。

- 患者 ID： 患者 ID を入力
- 担当医： 担当医名に含まれる文字を入力
- 患者名： 患者名に含まれる文字を入力
- 実施日： 開始日（検査開始日）の範囲を入力

「クリア」： 検索条件をクリアする。

「削除」： 一覧表③でチェックされた行を削除する。

「検索」： 設定された検索条件①で検査データを検索し、該当する検査データを一覧に表示する。

検索結果表示後、表示したい患者の行をダブルクリックするとそのデータがトレンドグラフに表示される。